

K N O  
 小野澤繁雄  
 布宮 慈子  
 河村 郁子

きのふより舞台が転換したやうに世界はいきなり白に変はつた  
 白銀の世界に心躍りしは二十代 今、転倒禁忌  
 この角でポンプの音をきいていしその養魚場一つ昔か  
 釣堀の武蔵境にありしこと今思ひ出づ釣りしことなし

12月15日 N  
 12月19日 K  
 12月22日 O  
 12月27日 N

2021年

池の辺に釣り竿の先見つめるし翁の横顔今は幻相

1月8日 K

一日分の会話というをしておりぬ池をきれいにしている人と  
 雪被る蔵王を眺むる夕べかな大寒の一日はや過ぎむとす  
 あさつては雪降るらしと伝ふるに庭木ゆるがず乾燥に耐ゆ  
 晴れ間でも雨のち晴れはキラキラし洗われ出でてなお冬のそら  
 サラサラとまたモサモサと降つてくる雪に見てゐる無常といふこと  
 中空に寝待ちの月のくわうくわうと睦月尽にて無事を礼せり  
 スーパーを出てみる空は夕焼けて日々みるそらをこのそらとする  
 雪の日も晴れ間みつけてスコップを持ち出してゆく日課のやうに  
 東隣の窓よりの反射光 仏間いつぱい夕陽が染める  
 白梅を先にみた日と後にみた日と花をみて紅白を云う  
 瀧山は蔵王のいちばん近い山夕陽当たれば白く輝く  
 親族らと三回忌法要の境内を紅梅白梅愛でつつ歩む

1月12日 O  
 1月20日 N  
 1月22日 K  
 1月25日 O  
 1月31日 N  
 2月1日 K  
 2月4日 O  
 2月10日 N  
 2月17日 K  
 2月18日 O  
 2月25日 N  
 2月28日 K



さ庭にも紅梅のあと沈丁花、海棠咲きつぎ励ましくるる	城跡の園の紅梅咲き始むここ山形は春の彼岸に	アパートの庭にもみえて白蓮の重々とみゆ幼木なれば	紅梅のさいごの一花散りしあと白沈丁花のい群れ咲きゐる	刻まれてゆく三一一それぞれの記憶を越えて春霞立つ	一歩 <sup>ひと</sup> きして町内の梅そのほかにみた花あれど梅がのこれる
3月31日	3月22日	3月17日	3月14日	3月11日	3月3日
K	N	O	K	N	O